

# 東濃社会教育だより No.7

-東濃地区社会教育振興協議会研修会編-



恵那県事務所  
振興防災課 振興防災係  
社会教育担当:長瀬  
〒509-7203  
恵那市長島町正家後田 1067-71  
TEL:0573-26-1111 内線 208

## 東濃地区社会教育振興協議会研修会の様子から ~今回のピックアップ~

8月23日(金)、バロー文化ホール(多治見市)にて、令和元年度東濃地区社会教育振興協議会研修会が開催されました。公民館関係者・社会教育委員・行政担当者・学校関係者等120名が参加しました。

### 東濃地区社会教育振興協議会役員を紹介

会 長 大竹 康文    副 会 長 有賀 秀雄  
書 記 小栗 茂    会 計 山本 金次  
監 事 遠藤 滋    山田 利彦  
常任理事 林 達夫 青木 琴美 須藤 真一郎  
事 務 局 恵那県事務所振興防災課及び多治見市



### 東濃地区社会教育委員表彰受賞者

土岐市社会教育委員 水野 雅仁 様  
中津川市社会教育委員 山本 金次 様  
中津川市社会教育委員 可知 眞佐代 様  
中津川市社会教育委員 木村 哲夫 様



左から、水野氏、山本氏、木村氏

## 瑞浪市社会教育委員・笠置コミュニティセンターの発表より

### 【瑞浪市社会教育委員会の発表より】

#### 「地域と学校の協働活動に向けた取り組み」

発表者：安藤隆宏氏

- ・公民館活動に着目した調査研究 (H28~29年度の取組)  
→全館の取組を「目標・着眼点・方策」でまとめ、各公民館の「工夫の見える化」と「情報の共有・活用の促進」へ → 調査研究報告書を作成し、教育長へ報告
- ・地域・家庭・学校の協働による地域づくりの取組 (H30~R1年度の取組)  
→協議と研修、小中学校を個別訪問し、学校へのアンケートを実施



### 【笠置コミュニティセンターの発表より】

#### 「地域力を活かしたコミュニティセンター」

発表者：岩崎修三学塾長、阿知波志保子主事

- ・笠置のふるさと自慢「みる(景観)・学ぶ(歴史)・あそぶ(スポーツ・ウォーク)」  
→「かかしの里」「ボルダリング」「親子でカヌー教室」
- ・佐藤一斎先生の教えに学ぶ、三学のまちを標榜した生涯学習  
→人と地域が結び合うことで地域に元気を育み、個人の生きがい  
が醸成  
→「ふるさと自慢づくり」と「よさの掘り起こし」



## 岐阜聖徳学園大学 教育学部 水川和彦 教授の講話より

### 演 題 「学校には未来の風が吹いている

### ～地域・学校協働のハイブリッドシステムを生かした教育」



#### 講師：水川先生の紹介

小中学校勤務後、義務教育総括監等、県の要職を経て、義務教育学校の白川郷学園校長として学校経営にあたり、現在は岐阜聖徳学園大学教育学部教授としてご活躍されています。

水川先生のお話を聞き、「地域の大切な宝である子どもは、家庭・学校・地域社会という幾つもの仕組みの中で、それぞれ、認められ、育てられていく。社会が大きく変化する中で、子ども達が未来に夢と希望を抱き、学び続けていく社会をつくるために私たち大人は何ができるか。役割は何か。」ということについて、じっくり考えさせられました。また、学校運営協議会や地域学校協働活動が推進されつつある昨今において、白川郷学園でのご実践や水川先生の教育理念は、この東濃地区においても共通するところや学ぶべきことがたくさんありました。

学校関係者の参加も例年以上に多く、学校と地域が相互に学び合う有意義な研修となりました。

#### 講話の内容【抜粋】

- “文明は滅びるが文化は滅びない”
- 村民学の哲学
  - ⇒ 白川村を科学する教科！
- 「ふるさとの事実」+「人の生き方」  
= 「自分の生き方」

↓  
地域がすべきことは、それぞれの組織・団体が“目の前の事実と人の願い”を一緒に見つめていくこと

#### 【参加者からのご意見】

- ・「村民学」が素敵だなあと思いました。ふるさとを知るという事は、生きるために必要だという事が分かりました。(社会教育委員)
- ・未来を創る子ども達の教育の考え方として、「子どもを核とした」という言葉は印象的でした。(社会教育委員)
- ・「白川郷学園」での教育実態を知り目からウロコが落ちました。特に印象に残ったのは、「村民学」という学習です。住んでいる街の特色、歴史、未来の問題を、子ども達と一緒に考え地域の活性化を図るヒントになりました。(公民館関係者)
- ・今とは別の時代に生きていく子どもたちには、その未来を生き抜く力を身に付けさせることが必要であること。AIではなく人間にしかできないことを身に付けさせてやること。この2つがいかに大切かが分かりました。人間にしかできない職業の大切さに気付かせたい。(学校関係者)
- ・地域の力の強み、子どもの吸収する学びの力を足し算できる取組を考えていかなければならないことを再認識したような気がします。ご講演のどの場面をとっても心に残るお話ばかりであっという間に過ぎてしまいました。自分の担当する家庭教育の場面で生かしていきたいと心新たになりました。(行政担当者)

